

中学校における共用品授業の展開

総合的な学習の時間のボランティア活動のクロスカリキュラム

—— 指導案(ものづくり教育の授業として指導案を作成) ——

総合的な学習の時間の授業として100分間の授業

東京都府中市立府中第一中学校教諭 酒井佳子

1. 主題名

「共に生きる」

2. 単元の目標

◎社会の一員として、よりよい社会を築いていくための課題を一人一人が追究することを通し、学んだことをわかりやすく表現し、友達の発表を聞くことで、学び方やものの考え方を身に付ける。

◎様々な人々の生き方に接し、自分を見つめ直すとともに、よりよく生きることについて考える。

3. テーマ設定の理由

生徒に社会の一員として、人間が生きていくためには人と人が支え合っていくことが大切であることを考えさせる。障害のある人、ない人、高齢者等様々な人々が一緒に幸福に生きていくこと、人間がよりよく生きていくための基礎を学ばせることが必要である。

4. ものづくり教育の視点

◎福祉に関する仕事の中で共用品を作る人の、ものづくりにかかわる喜び、充実感、苦労話を聞くことで、ものづくりに関する考えを深められるようにする。

◎共用品とは何かと共用品開発の取り組みを知る。

◎公共の福祉のために尽くそうとする態度や、将来の望ましい勤労観・職業観を育てる。



5. 指導計画(10時間)

時間	学習活動	ものづくりにかかわる留意点等
第1時～第2時	◎福祉について、教員や福祉施設の関係者、ボランティアエキスパートから話を聞いたりして、福祉について自分ができることやこれから必要だと思うことについて考えをまとめる。	◎人間としての生き方を感じ取るために、いろいろな仕事に従事する人々の話を直接聞くことができるように場と時間の設定をする。
第3時～第4時	◎「共に生きる」というテーマで各自が追求する課題を設定する。 ◎課題についての話し合いを通して、自分の追求方法について見通しを立てる。	◎課題の追究方法については必要に応じた調査方法を用い、インタビュー等の直接的な方法や文献調査等の間接的な方法を示す。
第5時～第7時	◎ふれあいボランティア活動として、福祉施設等でボランティア体験をする。	◎ボランティア活動を通じて勤労の喜びや充実感を十分に味わうことができるように福祉施設等での体験の場を設定する。 ◎「共に生きる」について追究した課題をまとめたり、深めたり、修正したりすることができるように助言する。
第8時～第9時本時	◎共用品について学び、共用品をデザインしてみる。	◎共用品製作の仕事について知ることができるように教材の提示を工夫する。 ◎共用品製作の仕事の楽しさ、難しさを体感することができるように十分に時間をとる。
第10時～第11時	◎課題について考えや伝えたいことをレポートにまとめ、発表し合い、友達の意見に共感したり、友達の意見から学んだりする。	◎福祉の仕事の多様性を知ることができるような発表方法にする。 ◎将来の自分の進路について、もう一度考えさせるよう発問を工夫する。

6. 本時のねらい

◎勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、よりよい社会の実現に努めようとする。

◎ものづくりに携わる人々の考えかたや知識、技術にふれ、将来の仕事や生き方について考える。

7. 本時の展開(第8時~第9時)

学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	ものづくりにかかわる留意点
◎共用品について共用品開発担当者から話を聞き、理解を深める。 ◎共用品を知っていますか 講師がどんな生き方をしているかどんな仕事の工夫をしているか考えながら聞いてください。	☆共用品って何だろう。 ☆シャンプーのぎざぎざ知っています。 講師 共用品推進機構 総務課課長 Mさん 〈共用品についての話を聞く〉 ☆共用品について理解する。 ☆共用品開発の仕事の大切さについて考える。 講師 東芝共用品開発担当者 ☆企業の共用品開発担当の仕事の喜びや苦労等を知る。	◎ものづくりに携わる人々の考えかたや知識、技術にふれ、将来の仕事や自分の生き方について考えを深めさせるような発問をする。 ☆共用品の開発という仕事があることを知っていますか。 ◎講演を聞くための視点を示す。 ☆みんなが幸せに暮らすためにはどんな工夫が必要でしょうか。
◎共用品についてウェイピング法を用いてアイデアを出す。 ◎共用品の新製品を考え、デザインする。 ◎共用品が開発されるともっと生活が便利になると思いますか。	☆思いうかばないよ。 ☆使用方法について音声解説があると便利だと思います。 ☆なるべくすぐに役立つことがいいですね。	◎共用品製作の仕事の楽しさ、難しさを体感する。 ☆共時間を十分に確保する。 ☆生徒のいい発想を紹介する。 ☆今まで人が考えていないことで不便なことを考えてみましょう。
◎「共に生きる」という考え方を深め、よりよい社会の実現に向けて努力する。	☆共用品を作ることも福祉の仕事なんだね。 ☆こういう仕事も面白そうだね。	◎実践意欲をもたせるためにワークシートに考えをまとめさせる。

共用品について学んだことや考えたこと、これからの生活で生かしていきたいことについて考えをまとめましょう。

8. 本時の評価

- ◎共用品について理解を深めたか。
- ◎ものづくりに携わる人々の生き方を学び、将来の仕事や生き方について考えを深めることができたか。

まとめ 社会で活躍する人々からの支援

今回の授業では、共用品推進機構の講師の先生とT・T*の授業を組んでいます。それは子どもたちに本物との感動的な出会いを設定し、将来どのように生きるかの具体的なモデルを紹介したかったからです。

私は講師の先生に「子どもたちのために素晴らしい授業をしたいのですが、是非、協力をお願いします。」と失礼も省みず、強引に講師をお願いしました。すると、快く引き受けてくださり、ビデオや資料、沢山の教材も用意して下さるなど、献身的な支援をして下さり、本当に感謝しています。

講師の先生にも共用品推進機構の取り組みを、子どもたちに紹介し、将来に役立ててほしいという意向があるそうなので、このT・Tは学校側にとっても、講師の方にとっても双方により試みであると思われま。

今日では、子どもたちが直接大人の働く姿を見られる職種は、それほど多いとはいえません。ですから、社会の役に立とうと生き生きと活動に励んでいる大人の姿を見せることは、とても意味のあることであると思います。

*T・T(Team Teaching:ティーム・ティーチング)=複数の教師が協力して行う授業方式の一つ。

共用品の授業ワークシート

年 組 番氏名

- 共用品とは何ですか学習したことを書きましょう。
- 共用品推進機構の仕事についてわかったことを書きましょう。
- 企業の共用品開発担当の仕事についてわかったことを書きましょう。
- 共用品を考えたときにどのようなことに重点を置いて考えましたか。(複数可詳しく書いて下さい。)
- 今日学んだことをこれからの生活で様々な人と接するときどのようにいかしていきたいと思いましたが、具体的に書きましょう。
- 今日の授業の自己評価 その1
- 今日の授業の自己評価 その2
- 担任の先生からのコメント

共用品 アイデア プロジェクト

デザイン・企画コーナー(絵や文章などで表してみよう)

共用品スタート

どんな共用品があると便利だと思いますか。アイデアを書き、新製品を考えたりデザインを考えたりしてみましょう。